

# ホルムズ海峡封鎖による企業活動への影響について

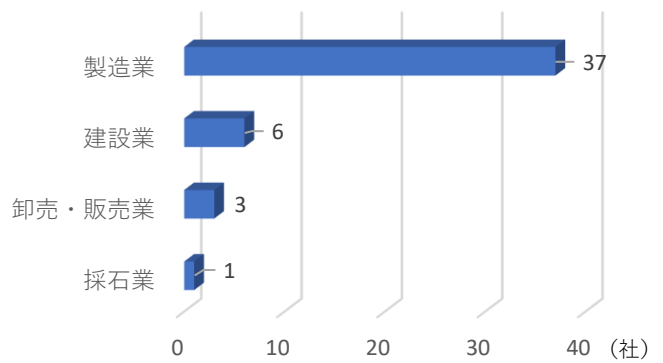
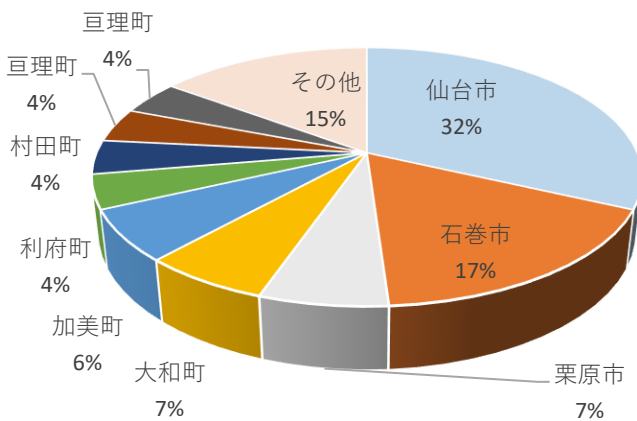
一般社団法人 みやぎ工業会

2026年3月から続くホルムズ海峡封鎖による事業への影響について、会員企業にアンケートを行いました。

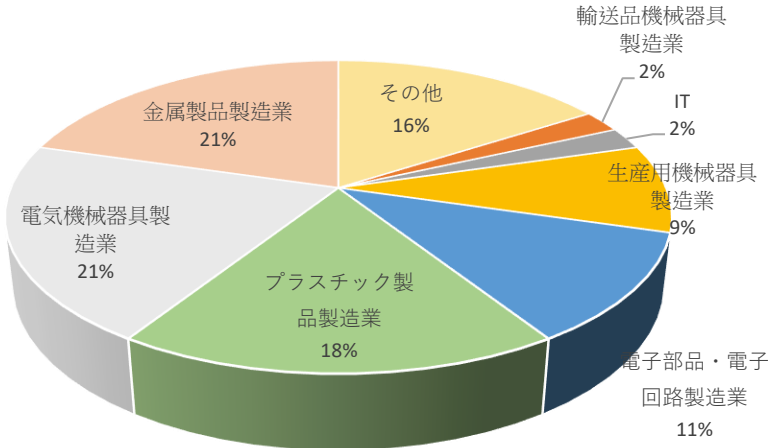
実施期間 2026年5月27日～6月4日  
 回答企業数 48社

## 1. 企業所在地

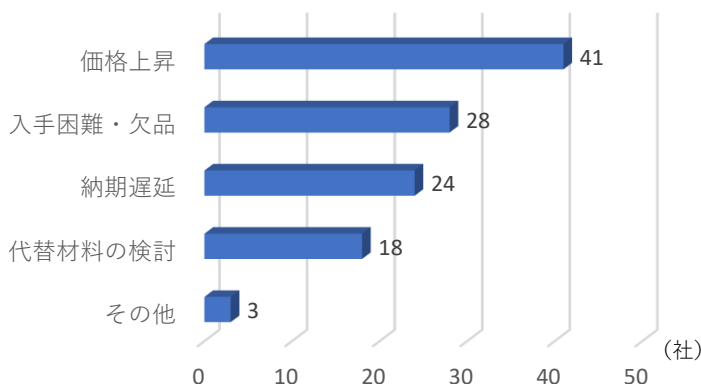
## 2. 主な業種



## 3. 製造業の内訳

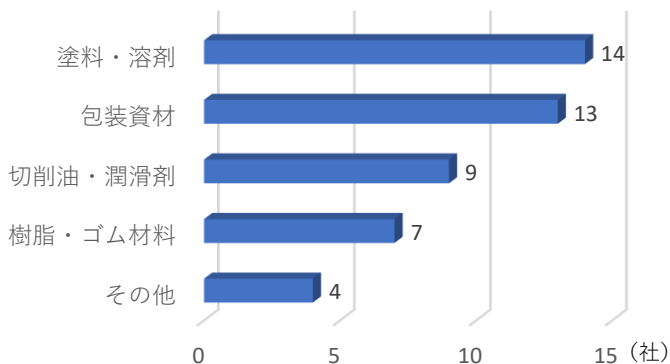


## 4. 原材料と資材の影響状況



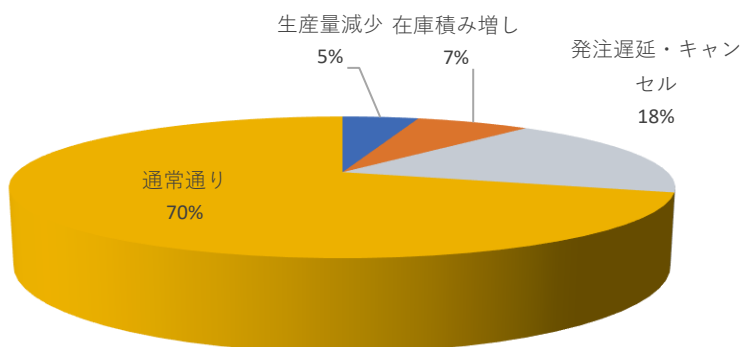
回答があった48社中の41社が、価格の高騰を最も大きな影響としている。  
 次いで資材の入手困難や欠品が28社と半数を超えている。  
 納期遅延についても半数の企業が影響があると回答している。

## 5. 影響が出ている品目



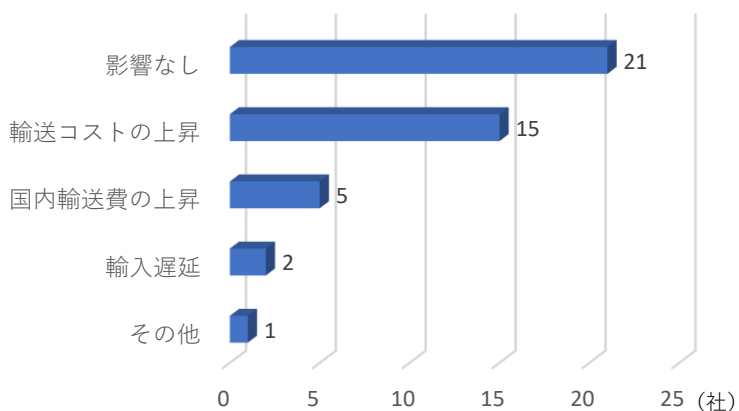
塗料・溶剤が最も高く、次いでフィルムなどの包装資材に大きな影響が出ている。これに加えて切削油・潤滑剤や樹脂・ゴム材料も影響が出ている。いずれも原料はナフサである。

## 6. 生産・施工・操業への影響



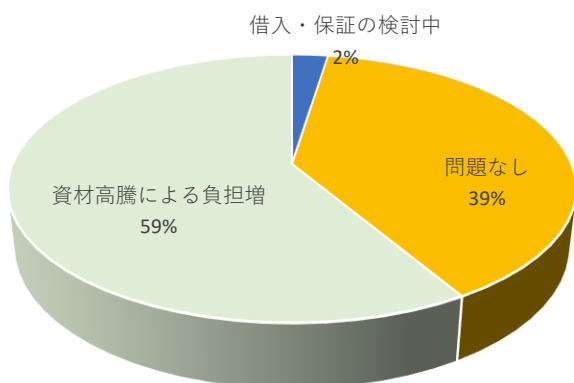
70%の企業では通常通りの活動ができていますが、受注遅延やキャンセルが発生している企業が18%ありました。また在庫の積み増しや減産などの影響が見られます。

## 7. 物流・輸送への影響



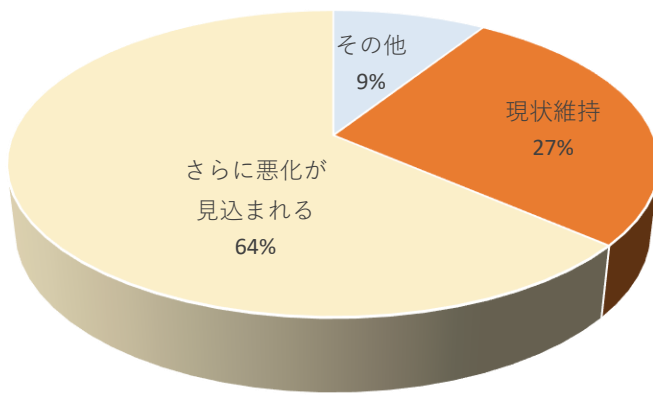
影響なしとの回答が最も多かった。影響としては輸送コストの増加を挙げた企業が15社と最も多かった。

## 8. 経営・資金繰りへの影響



資材高騰による負担増が59%と非常に高くなっている。借入・保証検討中との回答も2%あった。

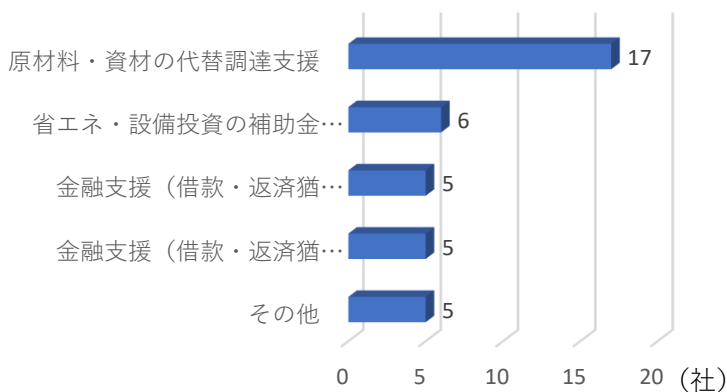
## 9. 今後の見通し



64%の企業が、さらに悪化すると見込んでいると回答している。

現状維持と予測する企業は27%とかなり少ない。

## 10. 必要な支援



原材料・資材の代替調達支援が17社と最も高くなっており、生産への影響が非常に大きいことが示されている。

## 11. コメント

- \* 石油に関連する燃油やプラスチック包装資材など関連するすべてが価格上昇しており、企業努力では解決できないレベルである。各種産業の倒産や人員の解雇など懸念されることが予想されます。
- \* 現在、原材料（塗料・インキ・シンナー）につきましては、価格が3月比115%-150%となっております。また、供給につきましては、5月納品分までの回答はメーカーより頂けておりますが、その先の納品予定は未定となっております。  
納品の可・否も希望納期の1-2週間前に連絡が来る状態ですので、生産稼働できる出来ない製品の生産計画・ライン人員配置など調整を連絡がくるたびに作り直しております。  
なお、副資材のニトリル手袋（クリーンルーム用）の入手が出来ない状況となっております。製品品質へ直結するために代替品の検討に苦慮しております。
- \* 工作機械潤滑油「68番」が残り1.5か月分で無くなる見込み。発注不可、納入未定。現在、至急必要な状況です。また弊社、仙台工場では1月にペール缶（20 l/1缶）を消費します。  
国内製造業の皆様も苦慮されている中、大変恐縮ですが弊社で生産している半導体製造装置部品、医療機器（人工関節）出荷に支障が出てお客様にご迷惑が及ぶ前に、数缶だけでも優先していただけるご支援策ございましたら、何卒ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

- \* 軒並みOEM製造委託が減少している。新規OEMも無く余剰工数のやりくり、資金繰りに苦労している。
- \* OEM製造業のため、量産案件が著しく減少していて近々の雇用確保が課題。
- \* コロナ禍の際は、5000万円のゼロゼロ融資等素早い対応があったが、今回は「ナフサはあるある」というばかり実際に物にはありつけず、金融支援もない。政府へ強い要求をお願いしたい。
- \* トランプ・高市総理の全体の経済を見ない状態では、海外はそれほど大きく原油に対して影響を受けていない様に見えます、打開策も打っています。
- \* 現在、社内では資材部門が中心となり、情報の共有等を行っております。その情報に基づいて、発注等対応しております。